

科目ナンバリング： MCM0001
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 経営学特論
担当教員： 井藤 正信(ITO Masanobu)

【授業の紹介】

経営関係の専門書を読むことによって、修士論文の書き方や展開方法を学んでほしい。なお、修士論文のテーマに合わせた専門書を中心に輪読し受講者の複数いる場合は、毎回担当を決めて発表形式で授業を実施したい。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202204～202504	大学院	1. 経営学に関連する優れた専門知識を身に付けている。
		2. 企業や自治体、NPO等の組織で高度な課題に応えられる能力を有している。
		4. 研究者をめざす場合、博士後期課程へ進学するための素養を有している。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202204～202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	

【到達目標】

修士論文の書き方を少しでも身につけることができれば、到達目標をクリアしたと言える。なお、修士論文のテーマにそくした指導を行うために、受講者が複数いる場合は目標は個別に設定する。
学生が修士論文の執筆に役立つ知識を習得できる。
学生が企業経営に関する包括的な知識を習得できる。

【成績の評価】

授業に出席することを前提に、平常点で評価する。平常点80%。発表内容20%。定期試験は実施しない。授業で学んだ内容を他の授業や研究にフィードバックさせる。

【使用テキスト】

修士論文の執筆に参考となるテキストの利用を考えている。その際も履修者と話し合って決める。

【参考文献】

チャンドラー『経営戦略と組織』、実業之日本社、1967年。バーナード『経営者の役割』、ダイヤモンド社、1968年など。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス：成績の評価方法や大まかな授業の概要について説明する。履修者と話し合っ て、テキストを決める。発表者も決める。	予習としてはシラバスを読み、どのような勉 強をするかを担当教員の指示に基づいて予習 をする（2時間）/復習としては実際の授業で 担当教員が話した内容をノートにまとめると ともに、理解できなかった点をチェックし、 場合によっては次回の授業で担当教員に質問 する（2時間）	
2	企業組織について発表者が報告する。アクテ ィブラーニングの後、教員がコメントする。	予習としては企業における人間の行動につい て事前に調べ、それをノートに記入しておく （2時間）/復習としては様々な企業組織につ いての概念を整理してノートに記入する（2 時間）	
3	具体的な企業を取り上げて発表者が報告する 。アクティブラーニングの後、教員がコメン トする。	予習としては企業行動について事前に調べ、 それをノートに記入しておく（2時間）/復習 としては教員がコメントした企業の事例の内 容を整理してノートに記入する（2時間）	
4	業種別に企業組織がどう違うかについて発表 者が報告する。アクティブラーニングの後、 教員がコメントする。	予習としては企業組織の違いについて事前に 調べ、それをノートに記入しておく（2時間 ）/復習としては企業組織のそれぞれの違い を整理してノートに記入する（2時間）	
5	これまでの発表者の報告内容について教員が 総括するとともに、アクティブラーニングや ディスカッションのやり方についても気にな った点を指摘し、指導する。	予習としてこれまでの授業を振り返り、それ をノートにまとめておく。また、プレゼン資 料を作成する（2時間）/復習として教員が指 示した内容を整理してノートに記入する。 （2時間）	
6	日本の企業組織とドイツのそれとの違いを発 表者が報告する。アクティブラーニングの後 、教員がコメントする。プレゼンをする。	予習としては消費者の行動について事前に調 べ、それをノートに記入しておく。前に出さ れていたプレゼンの発表資料を検討する（2 時間）/復習としては日本とドイツのそれぞ れの組織の概念を整理してノートに記入す る。なお、プレゼンの発表について反省点を記 す（2時間）	
7	日本の企業組織とアメリカのそれとの違いを 発表者が報告する。アクティブラーニングの 後、教員がコメントする。	予習としては日本とアメリカの企業の違いに ついて事前に調べ、それをノートに記入して おく（2時間）/復習としては教員がコメン トした内容を整理してノートに記入する（2時 間）	
8	アメリカの具体的な企業を取り上げて発表者が 報告する。アクティブラーニングの後、教員 がコメントする。	予習としてはアメリカの企業について事前に 調べ、それをノートに記入しておく（2時間 ）/復習としては教員がコメントした内容を 整理してノートに記入する（2時間）	
9	ドイツの具体的な企業を取り上げて発表者が報 告する。アクティブラーニングの後、教員が コメントする。	予習としてはドイツの企業について事前に調 べ、それをノートに記入しておく（2時間）/ 復習としては教員がコメントしたドイツ企業 についての内容を整理してノートに記入する （2時間）	
10	日本企業で事業部制を採用している企業につ いて発表者が報告する。アクティブラーニン グの後、これまで（第6回から第9回）の発表 について、中間的まとめとして教員がコメン トする。	予習としては日本企業の事業部制について事 前に調べ、それをノートに記入しておく（2 時間）/復習としては教員がコメントした事 業部制の内容を整理してノートに記入する （2時間）	
11	アメリカで事業部制を採用している企業につ いて発表者が報告する。アクティブラーニン グの後、教員がコメントする。	予習としては事業部制について事前に調べ、 それをノートに記入しておく（2時間）/復習 としては教員がコメントしたアメリカの事業 部制の内容を整理してノートに記入する（2 時間）	
12	マトリックス組織について発表者が報告す	予習としてはマトリックス組織について事前	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
	る。アクティブラーニングの後、教員がコメントする。	に調べ、それをノートに記入しておく（2時間）/復習としては教員がコメントしたマトリックスの組織の内容を整理してノートに記入する（2時間）	
13	集権組織と分権組織の意思決定の違いについて発表者が報告する。アクティブラーニングの後、教員がコメントする。	予習としては集権組織と分権組織について事前に調べ、それをノートに記入しておく（2時間）/復習としては教員がコメントした集権組織と分権組織の違いについての内容を整理してノートに記入する（2時間）	
14	集権組織を採っている企業を取り上げて発表者が報告する。アクティブラーニングの後、教員がコメントする。	予習としては集権組織について事前に調べ、それをノートに記入しておく（2時間）/復習としては集権組織に出てくる様々な概念を整理してノートに記入する（2時間）	
15	まとめ。第2回から第14回までの履修者の発表内容について教員が総評を行う。	予習としては今後の別の授業に係わりがありそうな内容をまとめノートに記入しておく（2時間）/復習としてはこれまで習った内容をまとめ、キーワードを整理してノートに記入する（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： MCM0003
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： ベンチャー企業経営特論
担当教員： 正岡 利朗(MASAOKA Toshirou)

【授業の紹介】

我が国において、ベンチャー企業は、広く「スタートアップ」や「スモールビジネス」を含む概念と考えられています。本講義では、まず、ベンチャー企業についてのイメージを深めた上で、よく見られる組織形態を説明し、続いて、ベンチャー企業存続の要諦たるビジネスアイデアと資金調達に言及します。そして、ベンチャー企業が陥りやすい経営危機について解説を行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202204～202504	大学院	1. 経営学に関連する優れた専門知識を身に付けている。
		2. 企業や自治体、NPO等の組織で高度な課題に応えられる能力を有している。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202204～202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	

【到達目標】

1. 経営学の研究を遂行する上で、身につけておきたいベンチャー企業についての各種の情報を整理して理解することができる。
2. 理論と実証の両方をバランスよく身につけられるようになる。
3. さらに、将来自ら起業をしたり、ベンチャー企業に関わることを積極的に志向する場合は、より実践的な知識や考え方を身につけられるようになる。
4. 上記の各知識や授業中に得た情報処理能力を統合的に活用して、ソサエティ5.0に寄与する各技能や考え方を身に付けることができる。

【成績の評価】

レポート提出(100%)の結果により判断します。ただし、授業態度が不適切な場合はそれに応じた減点をしますので留意してください。なお、各受講生のレポートの結果については講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

とくにありません(インターネットを使用する場合もある)。

【参考文献】

読売新聞大阪本社『ふるさと再生 カギは四国にあり』中央公論新社、2016年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	よいレポート内容をまとめるには相当な時間外の学習が必須となります。さまざまな意見を総合して、自分の意見をまとめるための参考にするという態度を時間をかけてぜひ身につけてください。	
2	ベンチャー企業とは（総論）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
3	同上（さまざまな活躍分野）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
4	ベンチャー企業の組織形態（総論）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
5	同上（さまざまな組織形態）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
6	ベンチャー企業とビジネスアイデア（総論）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
7	同上（ビジネスアイデアの管理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
8	同上（ビジネスアイデアの活用）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
9	ベンチャー企業の資金調達（総論）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
10	同上（さまざまな助成金）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
11	同上（助成金の活用）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
12	ベンチャー企業の経営危機（総論）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>ておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
13	<p>同上（組織崩壊など）</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
14	<p>同上（風評被害など）</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
15	<p>これまでの授業のまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
	<p>定期試験(実施しない)</p>		

科目ナンバリング： MCM0004
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 経営組織特論
担当教員： 藤原 泰輔(FUJIHARA Taisuke)

【授業の紹介】

組織が優れた成果を出すためには、組織のマネジメントが極めて重要になる。そのためには組織の構成要素となる人・集団のダイナミズムを理解し、同時に人や集団が形成する構造の特性を理解する必要がある。そこで、この授業では、著書や論文を読みながら、ミクロ・マクロの組織マネジメントにおける基礎理論を把握し、実務上の組織運営課題とその解決策について検討・理解をすすめていく。
なお、本講義は、教室でのリアルな講義に加え、オンラインないしはオンデマンドで行うこともある。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202204～202504	大学院	1. 経営学に関連する優れた専門知識を身に付けている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202204～202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	

【到達目標】

組織論（ミクロ組織論、マクロ組織論）に関する諸理論を理解し、適切に説明することができる。
理解した組織理論を、研究の場、実践の場で応用的に活用することができる。

【成績の評価】

討議への事前準備と貢献（100％）によって評価を行う。
評価に関してフィードバックを希望する人は個別に研究室で実施する。

【使用テキスト】

なし。

【参考文献】

入山章栄『世界標準の経営理論』ダイヤモンド社2019年

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

教員の企業経営の経験を活かし、具体的な事例を盛り込んだ授業を行う。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション：本講義の概要説明	<p>【予習】事前にシラバスに記載されているすべての内容を確認し、組織論とは何を学ぶ理論なのかを様々なウェブサイトを見て自分なりに把握する。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、講義の目的をしっかりと認識する。また自分の理解が正しかったところと違っていたところを把握し、理解を深める。（2時間）</p>	
2	リーダーシップ	<p>【予習】これまで自分がリーダーシップをとって物事を進めた経験がある場合には、そのシーンを思い返し、事前に配布される資料に目を通し、書かれている内容に関するレジюмеを作成する。また自分が理解できない言葉や概念・考え方について抽出する。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。予習の段階で抽出したシーンに対してどうすればよかったのかについて振り返る。（2時間）</p>	
3	モチベーション	<p>【予習】事前に配布される資料に目を通し、書かれている内容に関するレジюмеを作成する。また自分が理解できない言葉や概念・考え方について抽出する。どういう状況において自分のモチベーションは上がるのか/下がるのか、について考えておく。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。学んだモチベーション理論に基づき、モチベーションが下がっている状況ではどうすればそれを高めることができるのかを考える。（2時間）</p>	
4	認知バイアス	<p>【予習】事前に配布される資料に目を通し、書かれている内容に関するレジюмеを作成する。また自分ないしは世の中で先入観や経験に基づいて非合理的な意思決定が行われた事例を抽出し、それをレジюмеにまとめる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見をレジюмеに追記する。（2時間）</p>	
5	社会的つながり	<p>【予習】自分の身の回りの身近な事例でいいので、「社会的なつながり」と考えられる具体的な事象を複数ピックアップしたうえで、事前に配布される資料に目を通し、書かれている内容に関するレジюмеを作成する。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見をレジюмеに追記する。（2時間）</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
6	ソーシャルキャピタル	<p>【予習】事前に配布される資料に目を通し、書かれている内容に関するレジュメを作成する。また自分が理解できない言葉や概念・考え方について抽出する。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見をレジュメに追記する。（2時間）</p>	
7	組織の制度理論	<p>【予習】自分が経済合理性だけでは説明できないような行動がこれまでとったことがなかったかを振り返り、なぜそのような行動をとったのか自分なりに仮説を考える。また事前に配布される資料に目を通し、書かれている内容に関するレジュメを作成する。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見をレジュメに追記する。（2時間）</p>	
8	組織の進化理論	<p>【予習】生物の進化論について、あらかじめウェブサイトなどで調べて概要を理解しておく。事前に配布される資料に目を通し、書かれている内容に関するレジュメを作成する。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見をレジュメに追記する。（2時間）</p>	
9	取引費用理論	<p>【予習】事前に配布される資料に目を通し、書かれている内容に関するレジュメを作成する。また自分が理解できない言葉や概念・考え方について抽出する。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見をレジュメに追記する。（2時間）</p>	
10	資源ベース理論	<p>【予習】企業が保有する経営資源とは具体的には何か、その中で重要な経営資源とはないかを自分なりに考える。事前に配布される資料に目を通し、書かれている内容に関するレジュメを作成する。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見をレジュメに追記する。（2時間）</p>	
11	組織能力	<p>【予習】事前に配布される資料に目を通し、書かれている内容に関するレジュメを作成する。また自分が理解できない言葉や概念・考え方について抽出する。（2時間）</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見をレジюмеに追記する。（2時間）</p>	
12	知識創造理論	<p>【予習】事前に配布される資料に目を通し、書かれている内容に関するレジюмеを作成する。また自分が理解できない言葉や概念・考え方について抽出する。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見をレジюмеに追記する。（2時間）</p>	
13	コーポレートガバナンス	<p>【予習】コーポレートガバナンスとは何か、その概念を理解したうえで、ガバナンスがとれていないと思われる企業事例を調べる。事前に配布される資料に目を通し、書かれている内容に関するレジюмеを作成する。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見をレジюмеに追記する。（2時間）</p>	
14	経営者の役割	<p>【予習】経営者の役割とは何か、と聞かれたら自分はどうか答えるのか、それをレジюмеにまとめる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見をレジюмеに追記する。（2時間）</p>	
15	各回の要約・振り返り	<p>【予習】これまでに配布された資料および自分が作成したレジюмеをもう一度読み返し、本講義で学んだことを振り返る。（2時間）</p> <p>【復習】本講義で結局何を学んだのか、最も重要な学びは何か、今後の人生にどのように活かすことができるのか、自分の頭の中で取りまとめる。（2時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： MCM0005
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 経営戦略特論
担当教員： 井藤 正信(ITO Masanobu)

【授業の紹介】

本講義では、経営戦略の主要な論者の理論を紹介しながら、院生が主体的に発表できるような時間を設けることを予定している。分かりやすいように、実際の企業で採られた経営戦略について具体的に取り上げ、解説を加える一方、院生に事例研究をしてもらう。とりわけ、近年の AIは、経営戦略に不可欠なテーマであり、その点からも事例を取り上げたい。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202204～202504	大学院	1. 経営学に関連する優れた専門知識を身に付けている。
		4. 研究者をめざす場合、博士後期課程へ進学するための素養を有している。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202204～202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

現実の企業戦略を学び、就職した際にその知識を活かすことができる。
いくつかの企業における経営戦略について具体的に説明できる。

【成績の評価】

報告内容と授業中での受け答えが評価の中心となる。定期試験は実施しないので、平常点の評価となる。日常の受講態度や質疑応答を平常点として、平常点60%、報告内容40%といった割合で評価する。院生の報告内容について教員がコメントをつけてフィードバックする。

【使用テキスト】

第1回のガイダンスの時間に院生と相談して決める。

【参考文献】

マイケルポーター『競争の戦略』ダイヤモンド社、1996年。や図書館配架の戦略論の著書等。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス：講義の概要、報告の仕方や方法、成績評価について理解してもらう。	予習としてはシラバスを読んでできれば事前に担当教員にどのような予習をすればいいかを聞き、それに基づいて予習する（2時間）／復習としては担当教員の指示に基づいて戦略論についての予習をする（2時間）	
2	企業戦略の基礎 - 戦略論の基本的考え方を教員が解説	予習として経営戦略の概略について専門書などを読んでノートにまとめる（2時間）／復習としては指導教員の示唆について考え、企業戦略についての自分の理解を深める（2時間）	
3	経営戦略論の大家であるイゴール・アンゾフとマイケル・ポーターの理論について教員が解説	予習としてはアンゾフとポーターの戦略論について参考文献を使用して勉強する。（2時間）／復習として教員がコメントしたアンゾフとポーターの戦略論の内容を整理してノートに記入する。（2時間）	
4	経営戦略論について院生の理解について確認 ディスカッション	予習として経営戦略の概略について専門書などを読んでノートにまとめる（2時間）／復習としては指導教員の示唆について考え、自分の理解を深める（2時間）	
5	院生報告：ソニーの経営戦略について院生の発表と教員の解説	予習としてはソニーの経営戦略を参考文献に沿って勉強する（2時間）／復習としてはソニーの経営戦略について授業で習ったところをノートで確認する（2時間）	
6	院生報告：引き続きソニーの経営戦略について院生の発表と教員の解説	予習としては前回の授業に続いてソニーの経営戦略を参考文献に沿って勉強する（2時間）／復習としてはソニーの経営戦略について授業で習ったところをノートで確認する（2時間）	
7	院生報告：パナソニックの経営戦略について院生の発表と教員の解説	予習としてはパナソニックの経営戦略を参考文献に沿って勉強する（2時間）／復習としてはパナソニックの経営戦略について授業で習ったところをノートで確認する（2時間）	
8	院生報告：引き続きパナソニックの経営戦略について院生の発表と教員の解説	予習としては引き続きパナソニックの経営戦略を参考文献に沿って勉強する（2時間）／復習としてはパナソニックの経営戦略について授業で習ったところをノートで確認する（2時間）	
9	院生報告：Googleの経営戦略について院生の発表と教員の解説	予習としてはGoogleの経営戦略を参考文献に沿って勉強する（2時間）／復習としてはGoogleの経営戦略について授業で習ったところをノートで確認する（2時間）	
10	院生報告：引き続きGoogleの経営戦略について院生の発表と教員の解説	予習としては引き続きGoogleの経営戦略を参考文献に沿って勉強する（2時間）／復習としてはGoogleの経営戦略について授業で習ったところをノートで確認する（2時間）	
11	院生報告：Amazonの経営戦略について院生の発表と教員の解説	予習としてはAmazonの経営戦略を参考文献に沿って勉強する（2時間）／復習としてはAmazonの経営戦略について授業で習ったところをノートで確認する（2時間）	
12	院生報告：引き続きAmazonの経営戦略について院生の発表と教員の解説	予習としては引き続きAmazonの経営戦略を参考文献に沿って勉強する（2時間）／復習としてはAmazonの経営戦略について授業で習ったところをノートで確認する（2時間）	
13	これまでの企業の実践例に対する教員の解説1 院生とのディスカッション	予習としては企業の経営戦略の実践例を資料に沿って勉強する。（2時間）／復習として教	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		員がコメントした企業の実践例の内容を整理してノートに記入する。（2時間）	
14	これまでの企業の実践例に対する教員の解説2 院生とのディスカッション	予習としては前回に引き続き企業の経営戦略の実践例を資料に沿って勉強する。（2時間）/復習として教員がコメントした企業の実践例の内容を整理してノートに記入する。（2時間）	
15	まとめとしてこれまでの報告の総括を院生にしてもらい、それに対して教員側はコメントする。	予習として修士論文を作成するに際してこれまで本授業で学んだことをまとめ論文作成に役立てる（2時間）/復習としてはこれまで教員がコメントした内容をまとめ整理しておく（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： MCM0006
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 人材戦略特論
担当教員： 松繁 寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】

今年度は新技術の普及が人材市場に与える影響を研究する。特に、デジタル・トランスフォーメーションの進展によりニーズが減少する職業と逆にニーズが高まる職業を研究する。授業では関連する先行研究を読み、人材需要や働き方の変化を検討し、具体的事例を採る。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202204～202504	大学院	1. 経営学に関連する優れた専門知識を身に付けている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202204～202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	

【到達目標】

1. 専門的研究を精読できるようになる。
2. 専門分野の知識を身につけることができる。
3. 自分の研究に知識・技術を応用することができる。
4. 残された課題を発見する力が身に付く。

【成績の評価】

発表や質疑応答を通じた授業への貢献（70%）、期末レポート（30%）で評価を行う。
レポートに関しては、論文の査読形式にならない、改善点についてコメントをして返却する。

【使用テキスト】

適宜指示

【参考文献】

ユヴァル・ノア・ハラリ（2022）『ホモ・デウス：テクノロジーとサピエンスの未来』 河出書房新社

佐藤嘉倫・稲葉陽二・藤原佳典編（2022）『AI はどのように社会をかえるか ソーシャル・キャピタルと格差の視点から』 東京大学出版会

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	Griliches, Z(1969) "Capital-Skill Complementarity", The Review of Economics and Statistics , 51(4) pp. 465-468.	予習内容：指定された論文を読み報告を準備する（2時間） 復習内容：読んだ論文の残された課題をまとめる（2時間）	
2	Duffy, J., C. Papageorgiou and F. Perez-Sebastian (2004) "Capital-Skill Complementarity? Evidence from a Panel of Countries", Review of Economics and Statistics, 86, pp.327-344.	予習内容：指定された論文を読み報告を準備する（2時間） 復習内容：読んだ論文の残された課題をまとめる（2時間）	
3	Acemoglu, D., and P. Restrepo (2020) "Robots and Jobs: Evidence from US Labor Markets", Journal of Political Economy, 128 (6), pp.2188-2243	予習内容：指定された論文を読み報告を準備する（2時間） 復習内容：読んだ論文の残された課題をまとめる（2時間）	
4	カール・フレイ、マイケル・オズボーン (2015) 『日本におけるコンピューター化と仕事の未来』 野村総合研究所	予習内容：指定された論文を読み報告を準備する（2時間） 復習内容：読んだ論文の残された課題をまとめる（2時間）	
5	小松恭子・麦山亮太 (2021) 『日本版0-NETの数値情報を使用した応用研究の可能性：タスクのトレンド分析を一例として』 JILPT ディスカッションペーパー 21-11	予習内容：指定された論文を読み報告を準備する（2時間） 復習内容：読んだ論文の残された課題をまとめる（2時間）	
6	JILPT (2022) 『ものづくり産業におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）に対応した人材の確保・育成や働き方に関する調査結果』 調査シリーズ 218 調査研究報告書	予習内容：指定された論文を読み報告を準備する（2時間） 復習内容：読んだ論文の残された課題をまとめる（2時間）	
7	JILPT(2023) 『製造業におけるAI技術の活用が職場に与える影響 OECD共同研究』 資料シリーズ 262	予習内容：指定された論文を読み報告を準備する（2時間） 復習内容：読んだ論文の残された課題をまとめる（2時間）	
8	JILPT(2023) 『製造業におけるAI技術の活用が職場に与える影響 OECD共同研究』 資料シリーズ 262	予習内容：指定された論文を読み報告を準備する（2時間） 復習内容：読んだ論文の残された課題をまとめる（2時間）	
9	JILPT (2022) 『金融業におけるAI 技術の活用が職場に与える影響 OECD共同研究』 資料シリーズ 253（後半）	予習内容：指定された論文を読み報告を準備する（2時間） 復習内容：読んだ論文の残された課題をまとめる（2時間）	
10	石原直子 (2021) 『リスキリングとは DX時代の人材戦略と世界の潮流』 経済産業省デジタル時代の人材政策に関する検討会	予習内容：指定された論文を読み報告を準備する（2時間） 復習内容：読んだ論文の残された課題をまとめる（2時間）	
11	Ramey, V. A., and N. Francis (2009) "A Century of Work and Leisure" American Economic Journal: Macroeconomics, 1 (2), 189-224.	予習内容：指定された論文を読み報告を準備する（2時間） 復習内容：読んだ論文の残された課題をまとめる（2時間）	
12	Jääskeläinen, A. (2015) "Digitalization	予習内容：指定された論文を読み報告を準備	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
	and Work Life: How new technologies are changing task content and skill demand for five selected occupations", Master 's thesis, Aalto University, School of Economics.	する（2時間） 復習内容：読んだ論文の残された課題をまとめる （2時間）	
13	Georgieff, A. and R. Hye (2022) "Artificial Intelligence and Employment: New Cross-Country Evidence", Frontiers in Artificial Intelligence, 5, 1-29.	予習内容：指定された論文を読み報告を準備する（2時間） 復習内容：読んだ論文の残された課題をまとめる （2時間）	
14	カール・B・フレイ（2020）『テクノロジーの世界経済史：ビル・盖茨のパラドックス』日経BP（前半）	予習内容：指定された論文を読み報告を準備する（2時間） 復習内容：読んだ論文の残された課題をまとめる （2時間）	
15	カール・B・フレイ（2020）『テクノロジーの世界経済史：ビル・盖茨のパラドックス』日経BP（後半）	予習内容：指定された論文を読み報告を準備する（2時間） 復習内容：読んだ論文の残された課題をまとめる （2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： MCM0009
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： リスクマネジメント特論
担当教員： 安井 敏晃(YASUI Toshiaki)

【授業の紹介】

この授業科目では、卒業認定・学位授与の方針にある「学部が示す専門的知識や技能および実践的能力」を習得するために、企業のリスク処理に関して重要な保険についての基礎的な知識を修得することを目的とするものである。現代の企業は様々なリスクに取り囲まれており、それらのリスクに対処する必要がある事はいうまでもない。本講義では、企業をとりまくリスクを処理するための方法について、特に保険に焦点を絞り、その基礎的な内容を概説する。まず保険とリスク・マネジメントの関係を把握した後、保険の仕組み・構造など保険制度について検討する。

< 卒業認定・学位授与の方針における関連項目 >

1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

< 学修成果における関連項目 >

自己管理能力
専門知識活用能力

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202204～202504	大学院	1. 経営学に関連する優れた専門知識を身に付けている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202204～202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	

【到達目標】

- ・ 保険について基礎的な知識を獲得できる。
- ・ 現代社会におけるリスク処理の必要性を理解できる。

【成績の評価】

毎回、小テストを実施する。遅刻した場合には受験できないので注意すること。

小テスト(質問)(15%)に加え、レポート(85%)を総合して評価する。

小テストの詳細については、その次の講義時に説明する。

小テストの解答については、その次の講義時に説明する。定期試験では、試験終了時にポイントの解説を行う。

その他詳細については、最初の講義において説明する。

【使用テキスト】

堀田一吉・中浜隆編(2023)『現代保険学』有斐閣。なお レジュメを配布する場合もある。

【参考文献】

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	1. リスク・マネジメントと保険	保険について書かれた直近の新聞記事を探し読んでおくこと（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
2	2. 保険の概念（私保険）（1）	教科書・参考書または配布されたレジュメを精読すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
3	3. 保険の概念（公保険）（2）	教科書・参考書または配布されたレジュメを精読すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
4	4. 保険の仕組み（基本原則）（1）	教科書・参考書または配布されたレジュメを精読すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
5	5. 保険の仕組み（原則相互の関連）（2）	教科書・参考書または配布されたレジュメを精読すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
6	6. 保険の分類	教科書・参考書または配布されたレジュメを精読すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
7	7. 公保険について	教科書・参考書または配布されたレジュメを精読すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
8	8. 私保険について	教科書・参考書または配布されたレジュメを精読すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
9	9. 損害保険	教科書・参考書または配布されたレジュメを精読すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
10	10. 生命保険	教科書・参考書または配布されたレジュメを精読すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
11	11. 火災保険	教科書・参考書または配布されたレジュメを精読すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
12	12. 自動車保険	教科書・参考書または配布されたレジュメを精読すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
13	13. 保険事業の規制について	教科書・参考書または配布されたレジュメを精読すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
14	14. 保険事業の課題	教科書・参考書または配布されたレジュメを精読すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
15	15. まとめ（全体の振り返り）	教科書・参考書または配布されたレジュメを精読すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： MCM0010
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 国際経営特論
担当教員： 岡本 丈彦(OKAMOTO Takehiko)

【授業の紹介】

グローバル・資本主義体制下の経済体制における主役は「多国籍企業」である。そして、「多国籍企業」の活動には、光と闇の側面が存在する。本授業においては、まず担当教員が「多国籍企業」がどのような存在であり、そして「多国籍企業」は誰が経営を行い、それを誰がどのように監視・監督するのか、という問題について講義を行う。その上で、1970年代以降の「多国籍企業」が主体となった「企業不祥事」について院生からの報告を求める。本講義を受講し、報告を行うことによって、受講生は「多国籍企業」の存在を理解するとともに、その非倫理的行動の事例と問題点を理解することができる。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202204～202504	大学院	1. 経営学に関連する優れた専門知識を身に付けている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202204～202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

- 「多国籍企業」がどのような存在であるのかを理解することができる。
- 「多国籍企業」が非倫理的行動をする理由について理解することができる。
- 「多国籍企業」を規制するためにはどのような方法があるのかを理解することができる。

【成績の評価】

報告(60%)、定期レポートおよび受講態度(40%)で評価を行う。
報告については、発表の都度に点数を明示するとともに、定期レポートについては、採点の後、返却を行う。

【使用テキスト】

第1回目の授業で指示を行う。

【参考文献】

江夏健一・桑名義晴編著 IBI国際ビジネス研究センター著 [2018], 『理論とケースで学ぶ 国際ビジネス』 四訂版 同文館出版 3,000円+税 ISBN-13 : 978-4495368746。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	イントロダクション(講義目標、講義概要、成績評価の説明)	【予習】：シラバスを読み、「国際経営」あるいは「グローバル経営」に関するニュースなどを見て興味があるトピックについて、ノートなどにメモをしておくこと(2時間)。 【復習】：第2回の報告資料を作成すること(2時間)。	
2	多国籍企業の活動とグローバル化	【予習】：第2回の報告資料を作成すること(2時間)。 【復習】：第3回の報告資料を作成すること(2時間)。	
3	多国籍企業の非倫理的行動	【予習】：第3回の報告資料を作成すること(2時間)。 【復習】：第4回の報告資料を作成すること(2時間)。	
4	1970年代の多国籍企業における不祥事(院生報告)	【予習】：第4回の報告資料を作成すること(2時間)。 【復習】：第5回の報告資料を作成すること(2時間)。	
5	第4回報告へのフィードバックと振り返り	【予習】：第5回の報告資料を作成すること(2時間)。 【復習】：第6回の報告資料を作成すること(2時間)。	
6	1980年代の多国籍企業における不祥事(院生報告)	【予習】：第6回の報告資料を作成すること(2時間)。 【復習】：第7回の報告資料を作成すること(2時間)。	
7	第6回報告へのフィードバックと振り返り	【予習】：第7回の報告資料を作成すること(2時間)。 【復習】：第8回の報告資料を作成すること(2時間)。	
8	1990年代の多国籍企業における不祥事(院生報告)	【予習】：第8回の報告資料を作成すること(2時間)。 【復習】：第9回の報告資料を作成すること(2時間)。	
9	第8回報告へのフィードバックと振り返り	【予習】：第9回の報告資料を作成すること(2時間)。 【復習】：第10回の報告資料を作成すること(2時間)。	
10	2000年代の多国籍企業における不祥事(院生報告)	【予習】：第10回の報告資料を作成すること(2時間)。 【復習】：第11回の報告資料を作成すること(2時間)。	
11	第10回報告へのフィードバックと振り返り	【予習】：第11回の報告資料を作成すること(2時間)。 【復習】：第12回の報告資料を作成すること(2時間)。	
12	2010年代の多国籍企業における不祥事(院生報告)	【予習】：第12回の報告資料を作成すること(2時間)。 【復習】：第13回の報告資料を作成すること(2時間)。	
13	第12回報告へのフィードバックと振り返り	【予習】：第13回の報告資料を作成すること(2時間)。 【復習】：第14回の報告資料を作成すること(2時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
14	多国籍企業はなぜ、非倫理的行動をするのか	【予習】：第14回の報告資料を作成すること(2時間)。 【復習】：これまでのまとめを作成すること(2時間)。	
15	これまでのまとめとフィードバック	【予習】：これまでのまとめを作成すること(2時間)。 【復習】：最終課題を作成し、期限内に提出すること(20時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： MCI0002
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 情報システム特論
担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

「情報システムの開発はプロジェクトマネジメント：PMに関連する」「情報システムの導入は業務改善に役に立つ」これらは当たり前のことと捉えられていますが、PMや業務改善とは何かを本当の意味で理解している人は少ないと考えられます。それらのことが日本企業のDXの遅れにつながっていると、私は考えています。

この講義では、PMの標準であるPMBOKの学修と業務改善を題材としたPMを通じて企業のDXに役立つ人材を育成することを目標としています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202204～202504	大学院	2. 企業や自治体、NPO等の組織で高度な課題に応えられる能力を有している。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202204～202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	

【到達目標】

- (1) 情報システムに関する知識を理解できる
 - (2) プロジェクトマネジメントに関する知識を理解できる
 - (3) 業務改善手順を理解できる
- 以上を到達目標とします。

【成績の評価】

授業での成果物(80%)、レポート(10%)、授業への取組(10%)とする。
レポート等については、採点・添削後に返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

プロジェクトマネジメント標準 PMBOK入門：PMBOK 第6版対応版
広瀬 修(著)、オーム社、2028年、\2,000円+税 ISBN-13 : 978-4274221804
上流モデリングによる業務改善手法入門
世古 雅人、渡邊 清香(著)、技術評論社、2010年、\2,480円+税、ISBN-13 : 978-4774144351、

【参考文献】

適宜指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として図書館、インターネット等での調査 2時間 復習として授業での質疑応答に対するの再調査 2時間	
2	情報システムとは	予習として図書館、インターネット等での調査 2時間 復習として授業での質疑応答に対するの再調査 2時間	
3	プロジェクト管理とPMBOK	予習として図書館、インターネット等での調査 2時間 復習として授業での質疑応答に対するの再調査 2時間	
4	PMBOKの全体像	予習として図書館、インターネット等での調査 2時間 復習として授業での質疑応答に対するの再調査 2時間	
5	要件定義、計画フェーズ	予習として図書館、インターネット等での調査 2時間 復習として授業での質疑応答に対するの再調査 2時間	
6	設計フェーズ	予習として図書館、インターネット等での調査 2時間 復習として授業での質疑応答に対するの再調査 2時間	
7	テスト・移行、運用・保守フェーズ	予習として図書館、インターネット等での調査 2時間 復習として授業での質疑応答に対するの再調査 2時間	
8	情報システムと業務改善	予習として図書館、インターネット等での調査 2時間 復習として授業での質疑応答に対するの再調査 2時間	
9	業務改善プロジェクトの策定	予習として図書館、インターネット等での調査 2時間 復習として授業での質疑応答に対するの再調査 2時間	
10	業務プロセスのモデル化	予習として図書館、インターネット等での調査 2時間 復習として授業での質疑応答に対するの再調査 2時間	
11	業務における問題発見	予習として図書館、インターネット等での調査 2時間 復習として授業での質疑応答に対するの再調査 2時間	
12	それぞれの問題に対する改善策の策定	予習として図書館、インターネット等での調査 2時間 復習として授業での質疑応答に対するの再調査 2時間	
13	プロセスの再設計	予習として図書館、インターネット等での調査 2時間 復習として授業での質疑応答に対するの再調査 2時間	
14	業務改善の提案	予習として図書館、インターネット等での調査 2時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		復習として授業での質疑応答に対するの再調査 2時間	
15	改善案のレビュー	予習として図書館、インターネット等での調査 2時間 復習として授業での質疑応答に対するの再調査 2時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： MCI0003
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 経営工学特論
担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi)

【授業の紹介】

この授業は経営情報系や事業創造に関する科目であり、経営に関する諸問題について、経営工学的アプローチによって問題を解決する方法を学び、そのビジネス分野への応用について理解を深める。経営情報の専門的知識の修得を目標としている。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202204～202504	大学院	1. 経営学に関連する優れた専門知識を身に付けている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202204～202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	

【到達目標】

企業経営に出くわすようなデータを分析して、経営に関する諸問題を具体的に理解することができ、それを数理的に解決できる。
比較的簡単なデータを分析することから始めてより複雑なデータを分析できる

【成績の評価】

毎回の講義での積極性を評価する(30%)、ミニ・レポート(50%)および期末レポート(20%)により評価する。
また、提出されたレポートは記述内容の先進性(60%)、講義内容の理解レベル(40%)で評価する。
なお、期末レポートを提出しない者、出席が10回に満たない者は不合格とする
また、遅刻もしくは早退2回で欠席1回とする。
課題レポートは、添削し返還します

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

森雅夫, 松井知己『オペレーションズ・リサーチ』(朝倉書店)
秋庭雅夫『インダストリアルエンジニアリング』(日科技連)

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	スケジューリングの考え方	授業テーマの課題研究(4時間)	
2	スケジューリングの実際	授業テーマの課題研究(4時間)	
3	スケジューリングとPERT/CPM	授業テーマの課題研究(4時間)	
4	線形計画問題	授業テーマの課題研究(4時間)	
5	線形計画と生産計画	授業テーマの課題研究(4時間)	
6	線形計画と輸送問題	授業テーマの課題研究(4時間)	
7	線形計画と最適配置問題	授業テーマの課題研究(4時間)	
8	線形計画とその他の問題	授業テーマの課題研究(4時間)	
9	需要予測の手法	授業テーマの課題研究(4時間)	
10	需要予測の例	授業テーマの課題研究(4時間)	
11	在庫管理の考え方	授業テーマの課題研究(4時間)	
12	在庫管理の実際	授業テーマの課題研究(4時間)	
13	経済性計算の考え方	授業テーマの課題研究(4時間)	
14	経済性計算の例	授業テーマの課題研究(4時間)	
15	レポートのまとめ方	授業テーマの課題研究(4時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： MCI0004
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： ビジネスシミュレーション特論
担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

新規にビジネスモデルを構築したり、既存の市場への新規参入を実施したりするときには、勝算を見積もることが必要ですが、このための有用な手法にビジネスシミュレーションがあります。ビジネスシミュレーションでは、対象とする市場を何らかの数理的なモデルとして表現することで、どのような結果がもたらされるのかを計算します。ビジネスシミュレーションの応用として、現実の人間同士の駆け引きを通じて市場モデルの特性を理解する手法であるビジネスゲームがあります。ビジネスゲームを用いると、その市場において人間同士にどのような相互作用が発生するのかを探ることも可能です。

この授業では、ビジネスゲームの理論的な解析を通じて想定される結末と、実際のゲームの結果が一致するの否かについて議論を行います。加えて、現実の何らかの市場からゲームとしてのトレードオフ構造を抽出して、ビジネスゲームの市場モデルを設計することに取り組みます。

受講に必要な前提知識として、データ分析の方法を理解していることが挙げられます。事前に、経営学部における統計学関連の様々な授業科目や「スモールビジネス論」における学習内容を復習しておいてください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202204～202504	大学院	2. 企業や自治体、NPO等の組織で高度な課題に応えられる能力を有している。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202204～202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	

【到達目標】

1. 市場のメカニズムを推測し、最大の利益を追求することができる。
2. 他社の戦略を推測し、適切な対策を取ることができる。
3. 市場の数理モデルを解析して、どのような結末が導かれるのかを理解できる。
4. 現実の市場からビジネスゲームの市場モデルを設計することができる。

【成績の評価】

授業における質疑応答と議論への貢献（20%）、授業内の課題（20%）、プレゼンテーション（20%）、レポート課題（40%）

授業内の課題やプレゼンテーションについてのフィードバックは、その授業のなかで行います。また、レポート課題のフィードバックは、後日、研究室において課題の評価の詳細について説明します。

【使用テキスト】

資料を配布する。

【参考文献】

中山幹夫「社会的ゲームの理論入門」（勁草書房）ISBN978-4-326-50267-7，¥2,800+税。

藤田勝康「ExcelによるOR演習」（日科技連）ISBN978-4-8171-5033-2，¥2,200+税。

笠井清志「コンビニのしくみ」（同文館出版）ISBN978-4495577018，¥1,600+税。

大久保一彦「成功する小さな飲食店の始め方」（西東社）ISBN978-4791613816，¥1,300+税。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	復習：授業で得られた気付きやアイデアをノートにまとめる(4時間)	
2	ベーカリーゲーム(1)：リハーサル	復習：授業で得られた気付きやアイデアをノートにまとめる(4時間)	
3	ベーカリーゲーム(2)：ブラックボックスから情報を引き出す	復習：授業で得られた気付きやアイデアをノートにまとめる(4時間)	
4	ベーカリーゲーム(3)：競争相手を出し抜く	復習：授業で得られた気付きやアイデアをノートにまとめる(4時間)	
5	ベーカリーゲーム(4)：発表	復習：授業で得られた気付きやアイデアをノートにまとめる(4時間)	
6	ビジネスゲームの理論的な解析	復習：授業で得られた気付きやアイデアをノートにまとめる(4時間)	
7	ゲームの構造とトレードオフ	復習：授業で得られた気付きやアイデアをノートにまとめる(4時間)	
8	市場モデルの設計(1)：様々な市場の具体例	復習：授業で得られた気付きやアイデアをノートにまとめる(4時間)	
9	市場モデルの設計(2)：市場についての分析	復習：授業で得られた気付きやアイデアをノートにまとめる(4時間)	
10	市場モデルの設計(3)：トレードオフの抽出	復習：授業で得られた気付きやアイデアをノートにまとめる(4時間)	
11	市場モデルの設計(4)：数理モデルの構造の設計	復習：授業で得られた気付きやアイデアをノートにまとめる(4時間)	
12	市場モデルの設計(5)：数理モデルの妥当性の評価	復習：授業で得られた気付きやアイデアをノートにまとめる(4時間)	
13	市場モデルの設計(6)：各種パラメータの調整	復習：授業で得られた気付きやアイデアをノートにまとめる(4時間)	
14	市場モデルの設計(7)：発表	復習：授業で得られた気付きやアイデアをノートにまとめる(4時間)	
15	総括：レポートについての解説	復習：授業で得られた気付きやアイデアをノートにまとめる(4時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： MC10008
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 情報セキュリティ特論
担当教員： 玉田 和恵

【授業の紹介】

近年、ITが広く社会に普及し、DXの推進やAI・IoT・ビッグデータ活用などの技術が企業活動において不可欠なものになりつつある。一方でサイバー攻撃の手口は巧妙化し、内部不正などによる情報漏洩リスクもますます大きくなっている。そのため組織にとって、情報セキュリティをいかに確保するかが社会の大きな課題となっている。

情報セキュリティ上の脅威は、システムやテクノロジーによる「技術的対策」だけではなく、適切な情報管理・業務フローの整備・規程整備や管理・運用の徹底といった「人的対策」の両面からの対策が不可欠である。本授業では、機密情報を守りITの安全な利活用を推進するといった情報セキュリティ管理を担う人材を育成することを目指す。受講することによって、業種、職種を問わず、組織内で情報セキュリティマネジメントを担う人材として活躍できる知識・技能を身につける。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202204～202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	

【到達目標】

情報セキュリティマネジメントに必要となる問題解決力・思考力・判断力を身につける。
情報セキュリティ判断に必要となる規範知識・情報技術の知識・合理的判断の知識を身につける。
さまざまな課題に直面した際に適切に情報セキュリティ判断を行い、行動できる技術を身につける。

【成績の評価】

到達目標「情報セキュリティマネジメントに必要となる問題解決力・思考力・判断力を身につける。」については、問題解決課題に適切に対応できるかを問う課題で評価する（30%）
到達目標「情報セキュリティ判断に必要となる規範知識・情報技術の知識・合理的判断の知識を身につける。」については、自身でネットワーク社会の諸問題の中から問題点を見つけ、レポートとしてまとめる（30%）。
到達目標「さまざまな課題に直面した際に適切に情報セキュリティ判断を行い、行動できる技術を身につける。」については日頃の授業での発言や理解度・情報セキュリティ判断を問うフォームなどの小テストで修得度を評価する（40%）。
小テスト、レポートについては、その都度、結果を授業時に講評する。問題解決課題に関して教員から講評を受けることでフィードバックを行う。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) (2022) 情報セキュリティ読本 六訂版: IT時代の危機管理入門
独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	情報セキュリティの目的と考え方 情報セキュリティの重要性	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティについて興味関心を持ち、現在起こっている問題の特徴についてノートにまとめる（100分程度） ・情報セキュリティの重要性について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（100分程度） 	
2	問題解決の方法と手順	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の方法と手順についてノートにまとめる（100分程度） ・問題解決の方法と手順について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（100分程度） 	
3	情報セキュリティ （脅威の種類・マルウェア・不正プログラム）	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティに関する各項目について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（100分程度） ・情報セキュリティに関する各項目について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（100分程度） 	
4	情報セキュリティ （脆弱性・不正のメカニズム・攻撃者の種類・動機・サイバー攻撃手法）	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティに関する各項目について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（100分程度） ・情報セキュリティに関する各項目について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（100分程度） 	
5	情報セキュリティ技術 （暗号技術・認証技術・利用者認証）	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ技術に関する各項目について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（100分程度） ・情報セキュリティ技術に関する各項目について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（100分程度） 	
6	情報セキュリティ技術 （生体認証技術 公開鍵基盤）	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ技術に関する各項目について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（100分程度） ・情報セキュリティ技術に関する各項目について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（100分程度） 	
7	情報セキュリティ管理	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ管理について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（100分程度） ・情報セキュリティ管理について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（100分程度） 	
8	リスク分析と評価 （情報資産の調査・分類 リスクの種類 情報セキュリティリスクアセスメント）	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク分析と評価に関する各項目について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（100分程度） ・リスク分析と評価に関する各項目について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（100分程度） 	
9	情報セキュリティ諸規定 情報セキュリティマネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ諸規定について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（100分程度） ・情報セキュリティ諸規定について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（100分程度） 	
10	情報セキュリティ組織・機関 情報セキュリティに関する基準	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ組織・機関・基準について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（100分程度） ・情報セキュリティ組織・機関・基準について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（100分程度） 	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	情報セキュリティ対策 （人的セキュリティ対策 技術的セキュリティ対策 物理的セキュリティ対策）	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ対策について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（100分程度） ・情報セキュリティ対策について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる(100分程度) 	
12	セキュリティ実装技術 （セキュリティプロトコル・認証技術・ネットワークセキュリティ）	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ実装技術について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（100分程度） ・セキュリティ実装技術について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる(100分程度) 	
13	企業と法務 （知的財産権・不正競争防止法・サイバーセキュリティ基本法・不正アクセス禁止法・個人情報保護法）	<ul style="list-style-type: none"> ・企業と法務の各項目について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（100分程度） ・企業と法務の各項目について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる(100分程度) 	
14	法律・ガイドライン・技術者倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・法律・ガイドライン・技術者倫理についてノートにまとめる（100分程度） ・法律・ガイドライン・技術者倫理について、授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる(100分程度) 	
15	情報社会の発展と情報セキュリティマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会の発展と情報セキュリティマネジメントの課題についてノートにまとめる（100分程度） ・情報社会の発展と情報セキュリティマネジメントのあり方について、授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる(100分程度) 	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： MCI0006
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： A I 特論
担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

AIをビジネスに活かすためには様々な課題が存在する。そして、それぞれの課題に対して様々なアプローチがある。これらを実例をベースに知識を学ぶ。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202204～202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	

【到達目標】

- (1)AIの基礎理論を理解・説明できる。
- (2)AIについて、ライブラリ等を用いて簡単なシステムを実装できる。
- (3)AIの活用方法および今後の在り方について説明できる。

【成績の評価】

毎回の講義への積極性の評価(30%)、ミニ・レポート(50%)および期末レポート(20%)により評価する。また、提出されたレポートは記述内容の先進性(60%)、講義内容の理解レベル(40%)で評価する。フィードバックとしてレポートは返却する。返却されたレポートを読み直し、再提出を含めて見直すこと。また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】

AIビジネスチャンス 技術動向と事例に学ぶ新たな価値を生成する攻めの戦略 荻野調他 インプレス 2024年

【参考文献】

図解入門業界研究 最新AI産業の動向とカラクリがよ～くわかる本 讃良屋安明 秀和システム 2024年
生成A I導入の教科書 小澤健祐 ワン・パブリッシング 2023年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	事前に指定した教科書の該当箇所に関しては予習を行い、質問点疑問点を明確にしたうえで授業に臨む。（2時間）毎回ミニ・レポートを課す。講義中のノートを必ず読み返し、復習作業を行う。（2時間）	
2	AIの定義・概要・歴史	事前に指定した教科書の該当箇所に関しては予習を行い、質問点疑問点を明確にしたうえで授業に臨む。（2時間）毎回ミニ・レポートを課す。講義中のノートを必ず読み返し、復習作業を行う。（2時間）	
3	ニューラルネットワークの基礎	事前に指定した教科書の該当箇所に関しては予習を行い、質問点疑問点を明確にしたうえで授業に臨む。（2時間）毎回ミニ・レポートを課す。講義中のノートを必ず読み返し、復習作業を行う。（2時間）	
4	生成AI(教師なし学習)	事前に指定した教科書の該当箇所に関しては予習を行い、質問点疑問点を明確にしたうえで授業に臨む。（2時間）毎回ミニ・レポートを課す。講義中のノートを必ず読み返し、復習作業を行う。（2時間）	
5	生成AI(教師あり学習)	事前に指定した教科書の該当箇所に関しては予習を行い、質問点疑問点を明確にしたうえで授業に臨む。（2時間）毎回ミニ・レポートを課す。講義中のノートを必ず読み返し、復習作業を行う。（2時間）	
6	AIを用いているサービス	事前に指定した教科書の該当箇所に関しては予習を行い、質問点疑問点を明確にしたうえで授業に臨む。（2時間）毎回ミニ・レポートを課す。講義中のノートを必ず読み返し、復習作業を行う。（2時間）	
7	AI業界の概要	事前に指定した教科書の該当箇所に関しては予習を行い、質問点疑問点を明確にしたうえで授業に臨む。（2時間）毎回ミニ・レポートを課す。講義中のノートを必ず読み返し、復習作業を行う。（2時間）	
8	主なAI技術とその応用	事前に指定した教科書の該当箇所に関しては予習を行い、質問点疑問点を明確にしたうえで授業に臨む。（2時間）毎回ミニ・レポートを課す。講義中のノートを必ず読み返し、復習作業を行う。（2時間）	
9	企業のAI活用促進	事前に指定した教科書の該当箇所に関しては予習を行い、質問点疑問点を明確にしたうえで授業に臨む。（2時間）毎回ミニ・レポートを課す。講義中のノートを必ず読み返し、復習作業を行う。（2時間）	
10	AI産業の職種	事前に指定した教科書の該当箇所に関しては予習を行い、質問点疑問点を明確にしたうえで授業に臨む。（2時間）毎回ミニ・レポートを課す。講義中のノートを必ず読み返し、復習作業を行う。（2時間）	
11	国内のAI企業	事前に指定した教科書の該当箇所に関しては予習を行い、質問点疑問点を明確にしたうえで授業に臨む。（2時間）毎回ミニ・レポートを課す。講義中のノートを必ず読み返し、復習作業を行う。（2時間）	
12	国外のAI企業	事前に指定した教科書の該当箇所に関しては予習を行い、質問点疑問点を明確にしたうえで	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		で授業に臨む。（2時間）毎回ミニ・レポートを課す。講義中のノートを必ず読み返し、復習作業を行う。（2時間）	
13	AI産業に関連する産業とその影響	事前に指定した教科書の該当箇所に関しては予習を行い、質問点疑問点を明確にしたうえで授業に臨む。（2時間）毎回ミニ・レポートを課す。講義中のノートを必ず読み返し、復習作業を行う。（2時間）	
14	未来社会のテクノロジーと人間の共生について考える	事前に指定した教科書の該当箇所に関しては予習を行い、質問点疑問点を明確にしたうえで授業に臨む。（2時間）毎回ミニ・レポートを課す。講義中のノートを必ず読み返し、復習作業を行う。（2時間）	
15	まとめ：AIに関する今後の課題	事前に指定した教科書の該当箇所に関しては予習を行い、質問点疑問点を明確にしたうえで授業に臨む。（2時間）毎回ミニ・レポートを課す。講義中のノートを必ず読み返し、復習作業を行う。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： MCA0001
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 会計学特論
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

今日、企業の経済活動は複雑化、多様化しており、それに対応するように会計制度も大きく変化しています。本講義では、こうした制度変革の背景や基礎となる論理について考察するとともに、現行の会計制度、会計基準について具体的に検討します。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202204～202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	

【到達目標】

1. 現代における会計の理論と制度を的確に捉え、その基礎となる論理を説明することができる。

【成績の評価】

授業への貢献（70%）、報告資料（30%）により総合的に評価します。
なお、報告資料については授業時間内に講評することでフィードバックを行います。

【使用テキスト】

なし（受講者と相談の上、文献を適宜指示します）。

【参考文献】

伊藤邦雄『新・現代会計入門』日本経済新聞出版社 最新版を参考文献にします。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として研究テーマに関連する会計基準について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	現代の企業会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	企業会計の本質とフレームワーク	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	会計制度の論理と体系	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	企業のディスクロージャー	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	損益計算書のパラダイム	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	経営パフォーマンスの測定と表示	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	貸借対照表のパラダイム	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	資産の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	持分の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	金融商品の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	従業員給付の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	連結グループの会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	企業結合・事業分離等の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	グローバリゼーションの会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： MCA0002
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 財務会計特論
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

今日、企業の経済活動は複雑化、多様化しており、それに対応するように会計制度も大きく変化しています。本講義では、財務会計の基礎概念について学ぶとともに、財務会計の重要論点について検討します。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202204～202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	

【到達目標】

1. 財務会計の理論を的確に捉え、その基礎となる論理を説明することができる。

【成績の評価】

授業への貢献（50%）、レポート（50%）により総合的に評価します。
なお、レポートについては授業時間内に講評することでフィードバックを行います。

【使用テキスト】

なし（受講者と相談の上、文献を適宜指示します）。

【参考文献】

桜井久勝（2019）『財務会計の重要論点』税務経理協会
桜井久勝（2023）『利益調整 発生主義会計の光と影』中央経済社

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として研究テーマに関連する会計基準について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	利益調整	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	発生主義会計の優位性の源泉	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	発生主義会計の潜在的な弱点	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	財務報告の機能と制度	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	利害調整機能	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	情報提供機能	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	効率的市場仮説	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		予課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	利益調整による株価形成の誤導	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	財務報告の制度設計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	株価・会計情報研究の役割	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	概念フレームワーク	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	資産負債アプローチ	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	資産・負債の評価基準	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	財務諸表の体系、キャッシュ・フロー計算書	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： MCA0007
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 監査特論
担当教員： 井上 善弘(INOUE Yoshihiro)

【授業の紹介】

監査論の主要な研究領域である財務諸表監査について、そこにおける基礎的概念と方法論を説明します。財務諸表監査は、企業が公表する財務諸表の信頼性を独立した第三者の立場から保証することをその任務とするものであり、現代の経済社会における重要なインフラストラクチャーの1つと考えられています。本授業を履修することで、会計学の主要領域の一つである監査論の知識・技法を修得する。また、このような会計学に関する専門的知識の修得を通して、組織においてその知識を適切に活用することができるようになるとともに、より広く、課題に気付いて解決する力や社会に貢献できる力を身に付けることができます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202204～202504	大学院	1. 経営学に関連する優れた専門知識を身に付けている。
		2. 企業や自治体、NPO等の組織で高度な課題に応えられる能力を有している。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202204～202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	

【到達目標】

- 1 財務諸表監査がどのような基礎的概念と方法論を用いて実施されているかを説明することができる。
- 2 財務諸表監査が現代の経済社会で果たしている役割について説明することができる。

【成績の評価】

授業における質疑・応答、議論への参加（40%）とレポート（60%）による。レポートは添削のうえ、授業時に返却する。

【使用テキスト】

長吉・北山・伊藤・井上・岸・異島『監査論入門（第6版）』中央経済社，2024年。

【参考文献】

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	監査とは	次回の授業までに教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に係る教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
2	財務諸表監査の意義	次回の授業までに教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に係る教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
3	財務諸表監査の必要性	次回の授業までに教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に係る教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
4	監査人	次回の授業までに教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に係る教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
5	監査プロセスの全体像（1）適正性命題とアサーション	次回の授業までに教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に係る教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
6	監査プロセスの全体像（2）監査要点の意義	次回の授業までに教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に係る教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
7	監査証拠（1）～監査証拠の意義～	次回の授業までに教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に係る教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
8	監査証拠（2）～監査証拠の分類方法～	次回の授業までに教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に係る教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
9	監査手続（1）～一般監査手続～	次回の授業までに教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に係る教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
10	監査手続（2）～個別監査手続～	次回の授業までに教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に係る教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
11	内部統制	次回の授業までに教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に係る教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
12	試査とその理論的根拠	次回の授業までに教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		次回の授業までに次回の授業に係る教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
13	監査報告書（1）～標準監査報告書～	次回の授業までに教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に係る教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
14	監査報告書（2）～監査意見の移行形態～	次回の授業までに教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に係る教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
15	講義全体の総括と整理	次回の授業までに教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に係る教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： MCC0001
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 経済学特論
担当教員： 長町 康平(NAGAMACHI Kohei)

【授業の紹介】

この授業では、経済や経済政策の体系的な理解に役立つ経済学の考え方について、ミクロ経済学と呼ばれる分野を中心に理論と応用を学ぶ。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202204～202504	大学院	1. 経営学に関連する優れた専門知識を身に付けている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202204～202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	

【到達目標】

1. 経済学的思考について説明できる。
2. 市場が果たす役割と限界、市場がうまく機能しない場合の対処法について説明できる。
3. 経済理論の現実への応用例について具体例を挙げて説明できる。

【成績の評価】

授業への貢献（出席ではなく、授業中の発言等） 20%、宿題 80%

宿題は出題回の翌週の回に採点し返却する。その際に特に正答率が低かった問題を中心にポイントを解説する。

【使用テキスト】

教科書は特に指定しない。「参考文献」に挙げる入門レベルのテキストの中から好みに合わせて選択することをお勧めする。

【参考文献】

P. クルーグマン・R. ウェルズ (2017) 『クルーグマン ミクロ経済学 (第2版)』東洋経済新報社
N.G. マンキュー (2019) 『マンキュー経済学I ミクロ編 (第4版)』東洋経済新報社

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	イントロダクション 経済学がどのような学問かを紹介する。	参考書の関連する箇所を通読した上で、重要な概念やモデルの図について自身でノートを整理することが望ましい(2時間)。復習では、授業内容と参考書の関連付けを行いつつ、身近な例から経済学の問いを見つけてみる(2時間)。	
2	需要と供給 需要と供給のモデルを構成する需要と供給について学ぶ。	参考書の関連する箇所を通読した上で、重要な概念やモデルの図について自身でノートを整理する(1.5時間)。復習では、授業内容で不明な点について参考書を参照して理解を深めること、過去の授業内容との関連性についての整理すること、宿題の解答が求められる(2.5時間)。	
3	市場均衡 需要と供給のモデルの分析方法について学ぶ。	参考書の関連する箇所を通読した上で、重要な概念やモデルの図について自身でノートを整理する(1.5時間)。復習では、授業内容で不明な点について参考書を参照して理解を深めること、過去の授業内容との関連性についての整理すること、宿題の解答が求められる(2.5時間)。	
4	需要の価格弾力性 需要の価格弾力性とその応用例である価格差別について学ぶ。	参考書の関連する箇所を通読した上で、重要な概念やモデルの図について自身でノートを整理する(1.5時間)。復習では、授業内容で不明な点について参考書を参照して理解を深めること、過去の授業内容との関連性についての整理すること、宿題の解答が求められる(2.5時間)。	
5	消費者行動(1/2) 支払許容額や消費者余剰等の概念を導入し、消費者行動から需要曲線を導出する。	参考書の関連する箇所を通読した上で、重要な概念やモデルの図について自身でノートを整理する(1.5時間)。復習では、授業内容で不明な点について参考書を参照して理解を深めること、過去の授業内容との関連性についての整理すること、宿題の解答が求められる(2.5時間)。	
6	消費者行動(2/2) 消費者行動を効用最大化問題として定式化する意思決定の実証分析について学ぶ。	参考書の関連する箇所を通読した上で、重要な概念やモデルの図について自身でノートを整理する(2時間)。復習では、授業内容で不明な点について参考書を参照して理解を深めること、過去の授業内容との関連性についての整理することが求められる(2.5時間)。	
7	生産の費用 生産活動に伴う様々な費用概念について整理する。	参考書の関連する箇所を通読した上で、重要な概念やモデルの図について自身でノートを整理する(1.5時間)。復習では、授業内容で不明な点について参考書を参照して理解を深めること、過去の授業内容との関連性についての整理すること、宿題の解答が求められる(2.5時間)。	
8	生産者行動(1/2) 生産者行動を利潤最大化問題として定式化する方法を学ぶ。	参考書の関連する箇所を通読した上で、重要な概念やモデルの図について自身でノートを整理する(1.5時間)。復習では、授業内容で不明な点について参考書を参照して理解を深めること、過去の授業内容との関連性についての整理すること、宿題の解答が求められる(2.5時間)。	
9	生産者行動(2/2) 企業の利潤最大化の観点からサブスクリプションサービスについて分析する。	参考書の関連する箇所を通読した上で、重要な概念やモデルの図について自身でノートを整理する(1.5時間)。復習では、授業内容で不明な点について参考書を参照して理解を深めること、過去の授業内容との関連性についての整理することが求められる(2.5時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		間）。	
10	<p>市場の効率性</p> <p>市場がうまく機能する条件を整理し、市場の役割と限界について考える。</p>	<p>参考書の関連する箇所を通読した上で、重要な概念やモデルの図について自身でノートを整理する（1.5時間）。復習では、授業内容で不明な点について参考書を参照して理解を深めること、過去の授業内容との関連性についての整理すること、宿題の解答が求められる（2.5時間）。</p>	
11	<p>外部性</p> <p>外部性とそれへの対処法の一つであるピグー税について学ぶ。</p>	<p>参考書の関連する箇所を通読した上で、重要な概念やモデルの図について自身でノートを整理する（1.5時間）。復習では、授業内容で不明な点について参考書を参照して理解を深めること、過去の授業内容との関連性についての整理すること、宿題の解答が求められる（2.5時間）。</p>	
12	<p>公共財</p> <p>財・サービスの分類や公共財の供給について学ぶ。</p>	<p>参考書の関連する箇所を通読した上で、重要な概念やモデルの図について自身でノートを整理する（1.5時間）。復習では、授業内容で不明な点について参考書を参照して理解を深めること、過去の授業内容との関連性についての整理すること、宿題の解答が求められる（2.5時間）。</p>	
13	<p>独占</p> <p>独占市場について学び、応用としてデジタル・プラットフォームの規制について議論する。</p>	<p>参考書の関連する箇所を通読した上で、重要な概念やモデルの図について自身でノートを整理する（1.5時間）。復習では、授業内容で不明な点について参考書を参照して理解を深めること、過去の授業内容との関連性についての整理すること、宿題の解答が求められる（2.5時間）。</p>	
14	<p>情報の非対称性</p> <p>情報の非対称性によって引き起こされる問題(モラル・ハザードと逆淘汰)とそれへの対処法について学ぶ。</p>	<p>参考書の関連する箇所を通読した上で、重要な概念やモデルの図について自身でノートを整理する（1.5時間）。復習では、授業内容で不明な点について参考書を参照して理解を深めること、過去の授業内容との関連性についての整理すること、宿題の解答が求められる（2.5時間）。</p>	
15	<p>まとめ</p> <p>授業内容を振り返り、経済学的思考について改めて確認する。</p>	<p>これまでの授業で学んだ概念や経済モデルを振り返るとともに、自身が関心のある問題に対して経済学の応用可能性を検討する（3時間）。復習では、授業内容を踏まえた上で、改めて経済学の応用可能性について検討する（1時間）。</p>	
	<p>定期試験(実施しない)</p>		

科目ナンバリング： MCC0002
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 地域経済特論
担当教員： 正岡 利朗(MASAOKA Toshirou)

【授業の紹介】

地域経済学の主要なテーマのひとつである「人口移動」の理論と実証について講述します。本講義では、まず、地域と人口についてのイメージを深めた上で、人口移動によって引き起こされるさまざまな地域問題を取り上げます。続いて、わが国における地域間人口移動の現況及びその要因について、とくに地域政策の視点より言及し、あわせて、その基本的な分析手法について解説を行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202204～202504	大学院	1. 経営学に関連する優れた専門知識を身に付けている。 2. 企業や自治体、NPO等の組織で高度な課題に応えられる能力を有している。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202204～202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	

【到達目標】

1. 経営学の研究を遂行する上で、身につけておきたい地域経済についての理論及び知っておいた方がよい各種の地域経済情報を整理して理解することができる。
2. 現実のデータを扱い、実証分析を行うことができる。
3. 理論と実証の両方をバランスよく身につけられるようになる。
4. 上記の各知識や授業中に得た情報処理能力を統合的に活用して、ソサエティ5.0に寄与する各技能や考え方を身に付けることができる。

【成績の評価】

レポート提出(100%)の結果により判断します。ただし、授業態度が不適切な場合はそれに応じた減点をしますので留意してください。なお、各受講生のレポートの結果については講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

とくにありません。

【参考文献】

大友篤『地域分析入門』東洋経済新報社、1997年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	よいレポート内容をまとめるには相当な時間外の学習が必須となります。さまざまな意見を総合して、自分の意見をまとめるための参考にするという態度を時間をかけてぜひ身につけてください。	
2	地域と人口について	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
3	地域について	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
4	地域問題について	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
5	地域政策と人口移動（国レベルの地域政策）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
6	同上（地方自治体レベルの地域政策）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
7	人口移動の構造（「地域」を中心とした分類）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
8	同上（「移動の主体」を中心とした分類）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
9	人口移動の理論（プル・プッシュ理論）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
10	同上（プル・プッシュ理論の再検討）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
11	人口移動の統計資料	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
12	人口移動の分析手法（総論）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>ておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
13	<p>同上（手法についての実習）</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
14	<p>今後の人口移動について</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
15	<p>これまでの授業のまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
	<p>定期試験(実施しない)</p>		

科目ナンバリング： MCC0004
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： データ分析特論
担当教員： 松繁 寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】

この授業では、社会現象およびそれが生じる構造の解明や正しいと見做されている議論の正否をデータを利用して明らかにするために必要な知識と技術を修得します。統計学の理論を簡潔に説明した後、実際にデータを分析する作業と分析結果を議論することに多くの時間を費やします。特に、企業の人事制度を模倣して作成された擬似人事マイクロデータを使い、人事労務管理の諸問題をどのように分析し検証していくかを体験します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202204～202504	大学院	1. 経営学に関連する優れた専門知識を身に付けている。
		2. 企業や自治体、NPO等の組織で高度な課題に応えられる能力を有している。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202204～202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	

【到達目標】

1. 統計学の基礎を理解できる。
2. Excelを使って統計の基礎的分析ができる。
3. 人事に関する諸問題を統計的に分析する視点と技術を身につけ、対策を検討できる。

【成績の評価】

宿題・レポート(100%)・・・コメントとともに評価をフィードバックし、議論します。

【使用テキスト】

松浦 寿幸(2021) 『Stataによるデータ分析入門 経済分析の基礎から因果推論まで(第3版)』 東京図書

【参考文献】

A. Colin Cameron and Pravin K. Trivedi (2010) Microeconometrics Using Stata, Stata Press
Jeffrey Wooldridge (2013) Introductory Econometrics 5e International edition, Cengage Learning

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	コースガイダンス	予習：統計の基礎知識をあらかじめ身につけておく（2時間） 復習：授業内容の復習と応用課題を考える（2時間）	
2	標本抽出 - 母集団と標本（全数調査と標本調査） - パラメータと統計量 - 標本抽出（無作為抽出、さまざまな抽出法）	予習：統計の基礎知識をあらかじめ身につけておく（2時間） 復習：授業内容の復習と応用課題を考える（2時間）	
3	データ整理 - データ整理の重要ポイント	予習：統計の基礎知識をあらかじめ身につけておく（2時間） 復習：授業内容の復習と応用課題を考える（2時間）	
4	データの性質理解 - 代表値 - グラフを使ったデータの性質の把握	予習：統計の基礎知識をあらかじめ身につけておく（2時間） 復習：授業内容の復習と応用課題を考える（2時間）	
5	分布の形をつかむ指標 - 分散、標準偏差、変動係数 - 歪度、尖度	予習：統計の基礎知識をあらかじめ身につけておく（2時間） 復習：授業内容の復習と応用課題を考える（2時間）	
6	データ・クリーニング - 外れ値の発見 - リバレッジ - 欠損データ - 欠落変数と共変数	予習：統計の基礎知識をあらかじめ身につけておく（2時間） 復習：授業内容の復習と応用課題を考える（2時間）	
7	度数分布 - 産業内の企業規模分布を図にする。 - 企業内賃金データをもとに賃金分布を検討する。	予習：統計の基礎知識をあらかじめ身につけておく（2時間） 復習：授業内容の復習と応用課題を考える（2時間）	
8	共分散と相関係数 - 自己評価、友人の評価、教員評価のデータを使用して相関係数行列を作る。 - 相関係数行列から見えてくることを検討する。 - 因果推論	予習：統計の基礎知識をあらかじめ身につけておく（2時間） 復習：授業内容の復習と応用課題を考える（2時間）	
9	多変量解析の応用 1: 企業内データを用いて「年功」を考える。 - 賃金関数を推定する。 - 賃金の勤続に関する弾力性を考える。	予習：統計の基礎知識をあらかじめ身につけておく（2時間） 復習：授業内容の復習と応用課題を考える（2時間）	
10	多変量解析の応用 2: 企業内賃金データを用いて男女間賃金格差を推定する。 - ダミー変数 - 交差項	予習：統計の基礎知識をあらかじめ身につけておく（2時間） 復習：授業内容の復習と応用課題を考える（2時間）	
11	昇進プロセスの分析：企業内人事データを用いて昇進メカニズムを探る。 ロジットとプロビット 順序ロジットと順序プロビット	予習：統計の基礎知識をあらかじめ身につけておく（2時間） 復習：授業内容の復習と応用課題を考える（2時間）	
12	従業員満足度調査の作り方：ロイヤリティ、コミットメント、エンゲイジメント等は独立	予習：統計の基礎知識をあらかじめ身につけておく（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
	尺度か 因子分析とその応用	復習：授業内容の復習と応用課題を考える （2時間）	
13	従業員満足度調査の作り方 人事制度の健康診断 研修受講の効果測定 福利厚生制度の効果測定	予習：統計の基礎知識をあらかじめ身につけておく（2時間） 復習：授業内容の復習と応用課題を考える （2時間）	
14	上司効果の推定 上司と部下のマッチング	予習：統計の基礎知識をあらかじめ身につけておく（2時間） 復習：授業内容の復習と応用課題を考える （2時間）	
15	パネルデータ分析 人事マイクロパネルデータの重要性と作成方法	予習：統計の基礎知識をあらかじめ身につけておく（2時間） 復習：授業内容の復習と応用課題を考える （2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： MCC0005
 授業形態： 講義
 単位数： 2
 科目名： 統計学特論
 担当教員： 大藪 和雄(OHYABU Kazuo)

【授業の紹介】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。この授業の担当者は、国の実施する工業統計・商業統計・事業所統計（現、経済センサス）、家計調査の実際に経験があるため、政府の公表しているデータを利用する場合に、学生に細かい指導が可能であろう。

統計データの分析法について、実際のデータを取り上げながら、EXCELを使って講義を進める。院生は理論だけでなく、統計分析法をより具体的に把握することができる。たとえば、第5・6回には、コンビニの企業データに基づき、ローレンツ曲線を描き、ジニー係数を計算し、H.D.インデックスを計算し、集中度の意味を考察する。いろいろなグラフによる表現方法を体得することにより、修士論文に自分なりのグラフを作ることができるであろう。日本の統計データなどについて検索力をつけることにより、インターネットでデータを探ることができるようになるであろう。また、微妙に異なっている統計表を適切に利用できる能力が身につくであろう。このことにより、企業や自治体に就職した場合、自分らしい統計分析ができるようになるであろうし、博士課程に進学する場合でも、基礎的な力を養うことができよう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202204 ~ 202504	大学院	1. 経営学に関連する優れた専門知識を身に付けている。
		2. 企業や自治体、NPO等の組織で高度な課題に応えられる能力を有している。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202204 ~ 202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	

【到達目標】

この授業を受講した学生は、

1. 具体例により代表値・分散度の使い方を理解し、一般的な説明もできる。
2. 年齢調整死亡率・経済指数の背後の考え方である条件の異なる場面での比較の方法について理解でき、応用できる。
3. 具体的データの検索方法と目的に合致するようにデータを抽出する方法を理解し、応用できる。
4. データを分解して計算することによって変化の要因を理解し、他の分野にも応用できる。
5. 実際の問題について統計学の代表的な推定・検定の考え方を理解し、実際に応用できる。

【成績の評価】

復習のレポート（30%）。中間レポート（10%）。最終レポート（60%）。

復習問題は、次回にフィードバックする。中間レポートは、メールによりフィードバックする。

【使用テキスト】

授業の参考になるプリントを毎回配布する。統計学問題演習を配布する。

2014年5月「統計学問題演習」大藪和雄著 アート印刷株式会社作成。

【参考文献】

前川功一編著「経済・経営系のためのよくわかる統計学」朝倉書房、2014年3月。

村上正康・安田正實共著「統計学演習」培風館、1989年1月。

その他は、その都度示す。参考文献は、各自参照のこと。

いずれも高松大学附属図書館で備え付けてかれている。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	通常の平均はよく知られているので、移動平均を中心に説明する。月次系列では12か月移動平均、四半期系列では4項移動平均となるが、平均を取る項数が偶数の場合中心化が必要である。中心化をする場合が多いことを知る。 ◦<グラフ>原系列と移動平均系列を折れ線グラフにする。	<予習>経済・経営系のためのよくわかる統計学を読んでおく。5-12頁(2)。<復習>移動平均が全体の変動をうまく均してくれることを理解し、いろいろなデータで実際に計算してみる。例を1つ与えるが、自分でも1つ例を探してみる(2)。()内の数字は時間を示す。	統計手法を獲得すれば、これからの人生の色々な場面で必ず役に立つことが多いと思う。
2	データは、平均だけで無く分散している(データの散らばり方に意味がある)。たとえば、都道府県別の産業構造の違いを調べる場合どうすれば良いかについて具体的に調べてみる。 <グラフ>レーダーチャート	<予習>13-16頁(1)。<復習>特化係数を業種別にみると、散らばり方がずいぶん異なる。これをグラフ化する方法を知り、各都道府県の特徴をつかむことができる。授業では産業別付加価値のデータを使うが、就業者数のデータで分析し簡単なコメントを記す(3)。	
3	データを地域間で比較したり、時間的に比較したりする場合、同じ物さしで測定しなければならない。共通の物差しで比較するのが、標準化死亡率である。経済データは比較して理解が深まるが、この考え方を応用する。 <グラフ>降下線をつけた折れ線グラフ	<予習>「標準化死亡率」をインターネットであらかじめ調べておく(1)<復習>物差しの種類を理解する。時間的比較の場合、基準時の構造を利用する場合と、比較時の構造を利用する場合と、何か別の構造を利用する場合が考えられる。具体的データで理解して欲しい。都会と田舎では人口構造が異なるので、年齢別死亡率と全体の粗死亡率では、矛盾したように見える(3)。	
4	経済指数は、場所的比較(地域差指数)と時間的比較(通常の物価指数)があるが、前講の考えの発展であることを理解する。日本の物価指数について理解を深める。 <グラフ>	<予習>23-26頁(1)。<復習>消費者物価指数の基本系列とウェイトについて理解し実際の計算方法を理解する。ラスパイレス式・パーシェ式について理解する。連鎖指数についても理解する。名目賃金と実質賃金についても理解する(3)。	
5	不平等の指標としてグラフではローレンツ曲線、数値ではジニ係数を利用する。 <グラフ>散布図、特に正方形のグラフの作成法について。	<予習>17-20頁(1)。<復習>日本のデータと、日米比較の両方についてローレンツ曲線を描いてみる(3)。	特に、このグラフは世帯の収入の不平等の程度について描かれる場合が多いので、レポートとして提出して欲しい。復習時間も十分取って欲しい。
6	独占の程度を測る測度として、よく知られたハーフィンダール指数があるが、いろいろな業種についてこれを計算し、その大きさの程度により、独占市場、きわめて集中度の高い市場、高集中度市場、中位集中度市場、非集中度市場に分ける。	<予習>ハーフィンダール指数についてインターネットで調べておく(1)。<復習>いろいろな業種について実際に計算し、理解を深める(3)。	
7	相関関係の強さを測る指標として、通常の相関係数(Pearson)とSpearmanの順位相関係数について調べる。 <グラフ>散布図	<予習>91-94頁(1)。<復習>いろいろなデータについて計算してみるが、その検定も取り上げる(3)。	経営のデータについても相互の関連性を見つけるために良く用いられる。ここも十分に時間を取ってもらいたい。小レポートを提出して欲しい。
8	回帰分析の方法についてExcelによる計算と、その結果について評価を行なう。その利用の仕方を知る。 <グラフ>散布図と理論値のグラフ	<予習>94-104頁。109-113頁(2)。<復習>受講生の関心のある分野についての重回帰分析を行なうことにより理解を深める。実例を用意する(2)。	学生の関心のあるテーマで、特に実際に計測し、その結果を評価して欲しい。復習として、データを自分で探して分析して欲しい。
9	統計学で一番よく仮定される正規分布について調べる。正規分布とは異なる離散分布では	<予習>53-59頁、60-65頁(2)。<復習>実際のデータで良く用いられる、身長分布	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	あるが、割合に関する分析でも使われる2項分布についても理解を深める。	について、正規分布のあてはまりの良さを調べ、次回以降の推定検定との関係を理解する（2）。	
10	標本分布の性質、中心極限定理について理解を深める。これが、推定や検定に利用されることを理解する。	<予習>71-81頁（2）。<復習> 適当な母集団（たとえば、1,2,・・・20）から大きさ5の標本を500回取ってそれぞれの標本平均を計算し、その標本平均の分布を作って見る実験を試みる。各自は標本の大きさを10にして同じような実験をしてみてその結果を評価する。	
11	推定の実際について述べる。	<予習>81-83頁（1）。<復習> 授業で取り上げる例と、少し関連するような類題を解いてみる（3）。	
12	簡単な検定の実際と検定に出てくる専門用語について理解する。	<予習>83-89頁（2）。<復習> 授業で取り上げる例と、少し関連するような類題を解いてみる（2）。	
13	$O = TCSI$ と言うようなモデルを考え、具体的な時系列要素の古典的な理解を得る。特に季節変動を取り除く方法を理解する。受講生によっては、このテーマでなく、人口推計を取り上げる場合も考えられる。	<予習>115-122頁（2）。<復習> 経済データを要素に分解する方法について、自分で計算してみる（2）。	ここでも復習に特に時間をかけて欲しい。
14	トレンド要因である趨勢Tについて、各種のデータ（たとえば、耐久消費財の普及率）について当てはめ方を理解する。	<予習>インターネット、経営学の教科書で商品のライフサイクル的な面を調べてみる（2）。<復習> 各自で、実例を計算してみる（2）。	
15	テーマは年度により異なるが、授業で取り上げたもののうち各自の最も興味があった問題について、レポートを纏めるが、その方法やテーマに関連するデータの出所や利用方法について助言し、レポートのまとめ方について提案する。	全体的に特に復習に力を入れて欲しい。復習二時間をかけて欲しいが、あまり多くの課題を与えると、大変であるから、年度により、各受講者の興味により、特に力を入れる問題を3問ぐらいに絞っても良い。最終レポートを纏めて提出する（5）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： MCC0008
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： 外国文献研究
担当教員： 時 鍵(SHI Jian)

【授業の紹介】

学術論文には先行研究の検討が不可欠、且つ重要です。本講義では、各自の研究課題を明確したうえで、外国文献を中心にして、文献の収集、検討、発表することなどを通じて、院生の研究能力を育成することを目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202204～202504	大学院	多角的かつ多面的思考能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

1. 自分の研究分野・課題に関わる外国文献を収集することができる。
2. 専門的外国文献を精読、検討することができる。
3. 外国文献研究の能力は、修士論文の作成に活かすことができる。
4. 研究成果をプレゼンすることができる。

【成績の評価】

授業の出席、授業態度、講義への貢献度（100％）により総合的に判断します。授業態度が不適切な場合はそれに応じて減点しますので、要注意です。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

学術論文の作法 - 論文の構成・文章の書き方・研究論理（近江幸治著、文真堂、2022年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 本講義の内容、進み方など	予習：シラバスを読み、本演習に関する質問の有無を確認する(2時間)。 復習：講義資料を読み返し、本演習の進め方や取り組む課題を再度確認する(2時間)。	
2	文献研究の目的、重要性	予習：配布した資料を読み、レジюмеを作成する(2時間)。 復習：講義の要点を整理し、与えた問題を考え、検索する(2時間)。	
3	研究領域、課題の絞り	予習：配布した資料を読み、レジюмеを作成する(2時間)。 復習：講義の要点を整理し、与えた問題を考え、検索する(2時間)。	
4	外国文献の収集方法 図書館などの活用	予習：配布した資料を読み、レジюмеを作成する(2時間)。 復習：講義の要点を整理し、与えた問題を考え、練習する(2時間)。	
5	外国文献の収集ルート インターネット利の活用	予習：配布した資料を読み、レジюмеを作成する(2時間)。 復習：講義の要点を整理し、与えた問題を考え、練習する(2時間)。	
6	日本語文献の収集	予習：配布した資料を読み、レジюмеを作成する(2時間)。 復習：講義の要点を整理し、与えた問題を考え、練習する(2時間)。	
7	中国語文献の収集	予習：配布した資料を読み、レジюмеを作成する(2時間)。 復習：講義の要点を整理し、与えた問題を考え、練習する(2時間)。	
8	英語文献の収集	予習：配布した資料を読み、レジюмеを作成する(2時間)。 復習：講義の要点を整理し、与えた問題を考え、練習する(2時間)。	
9	外国文献研究の実例分析	予習：配布した資料を読み、レジюмеを作成する(2時間)。 復習：講義の要点を整理し、与えた問題を考え、練習する(2時間)。	
10	研究課題に関わる外国文献の整理	予習：配布した資料を読み、レジюмеを作成する(2時間)。 復習：講義の要点を整理し、与えた問題を考え、練習する(2時間)。	
11	研究課題に関わる外国文献の検討	予習：配布した資料を読み、レジюмеを作成する(2時間)。 復習：講義の要点を整理し、与えた問題を考え、練習する(2時間)。	
12	文献検討からの発見	予習：配布した資料を読み、レジюмеを作成する(2時間)。 復習：講義の要点を整理し、パワーポイントを作成する(2時間)。	
13	プレゼンテーションの準備	予習：配布した資料を読み、レジюмеを作成する(2時間)。 復習：講義の要点を整理し、パワーポイントを修正し、発表の練習を行う(2時間)。	
14	文献研究成果の報告	予習：予習：配布した資料を読み、レジюмеを作成する(2時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習：講義の要点を整理し、パワーポイントを作成する（2時間）。	
15	本講義のまとめ 要点の整理と質疑応答	予習：各回配布した資料及び自作したレジюмеを読み返し、質疑を考える（2時間）。 復習：本講義で学んだものは何か、学んだものを如何に、自分の研究に活かすか、などを考える（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： MCC0009
授業形態： 講義
単位数： 2
科目名： データサイエンス特論
担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi)

【授業の紹介】

この授業は経営情報系や事業創造に関する科目であり、経営に関する諸問題について、経営工学的アプローチによって問題を解決する方法を学び、そのビジネス分野への応用について理解を深める。経営情報の専門的知識の修得を目標としている。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202204～202504	大学院	1. 経営学に関連する優れた専門知識を身に付けている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202204～202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

企業経営に出くわすようなデータを分析して、経営に関する諸問題を具体的に理解し数理的に解決することができる。
データサイエンスやAIについて、比較的簡単なデータもとにデータを分析できる。

【成績の評価】

毎回の講義での積極性を評価する(30%)、ミニ・レポート(50%)および期末レポート(20%)により評価する。
レポートは記述内容の先進性(60%)、講義内容の理解レベル(40%)で評価する。課題レポートは、添削し返還する。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

授業時間に説明する
東京大学のデータサイエンティスト育成講座 Pythonで手を動かして学ぶデータ分析
中山 浩太郎【監修】/松尾 豊【協力】/塚本 邦尊/山田 典一/大澤 文孝【著】
マイナビ出版

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
1	データ活用	授業の課題研究（4時間）	
2	データベースとデータマイニングについて	授業の課題研究（4時間）	
3	データサイエンスに必要な数学1（線形代数、微分積分）	授業の課題研究（4時間）	
4	データサイエンスに必要な数学2（確率統計）	授業の課題研究（4時間）	
5	データサイエンスとビジネス論	授業の課題研究（4時間）	
6	データサイエンスの基礎1（知識ベース）	授業の課題研究（4時間）	
7	データサイエンスの基礎2（ディープラーニング）	授業の課題研究（4時間）	
8	データの可視化1（Pythonとライブラリについて）	授業の課題研究（4時間）	
9	データの可視化2（matplotlibの利用方法）	授業の課題研究（4時間）	
10	データサイエンスの前処理	授業の課題研究（4時間）	
11	データサイエンスとAI	授業の課題研究（4時間）	
12	ニューラルネットワークと深層学習	授業の課題研究（4時間）	
13	機械学習について1（教師あり学習）	授業の課題研究（4時間）	
14	機械学習について1（教師なし学習）	授業の課題研究（4時間）	
15	レポートのまとめ方	授業の課題研究（4時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： MCS0002
授業形態： 演習
単位数： 4
科目名： 特別演習 【経営組織】
担当教員： 藤原 泰輔(FUJIHARA Taisuke)

【授業の紹介】

修士論文の作成を通じて、能力的には、ものの考え方、現象のとらえ方、仮説構築、仮説検証に向けた厳格な方法論、定量的・定性的な分析、分析に基づく論証など、各種の能力を高めていく。また、それらの能力に基づいて、既存の理論では説明できないような不思議な現象の発見とそれに基づく研究課題の設定と仮説検証により、経営理論に新たな地平を切り開くことができる修士論文を作成する。
なお、本講義は、教室でのリアルな講義に加え、オンラインないしはオンデマンドで行うこともある。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202204～202504	大学院	1. 経営学に関連する優れた専門知識を身に付けている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202204～202504	大学院	専門的知識活用能力	
		多角的かつ多面的思考能力	

【到達目標】

世の中の面白い現象とはどういうものを把握し、自分で仮説を構築できる。
データ収集及び分析のスキルを獲得し、現象の背後にある構造を事実およびデータで明らかにすることができる。
論理的な文章、説得的な文章を書き、自分の主張を論証することができる。

【成績の評価】

各回の発表内容（20%）および修士論文の内容（80%）で評価する。評価に関するフィードバックを希望する人は、個別に研究室で行う。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

伊丹敬之『創造的論文の書き方』有斐閣（2001年）

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

企業経営の経験にもとづき、どのように現象をとらえるのかなどをビジネスの観点も交えながら講義を行う。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション：本講義の概要説明	<p>【予習】論文とは何か、論文の全体はどのような要素で構成されているか。事前に渡される資料を見て理解をする。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを再度振り返り、講義の目的をしっかりと認識する。また自分の理解が正しかったところと違っていたところを把握し、理解を深める。（2時間）</p>	
2	修士論文テーマの検討	<p>【予習】テーマを検討し、論文の問題設定につながる現実の事象を抽出する。それをレジюмеにまとめる。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジюмеに反映させる。（2時間）</p>	
3	分析対象となる現象の深堀り	<p>【予習】前回の指摘事項を踏まえ、不思議さを表す詳細な事実やデータを収集し、それをレジюмеにまとめる。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジюмеに反映させる。（2時間）</p>	
4	現象に関する事実の把握	<p>【予習】論文で分析する事象に関する周辺情報など詳細な事実を把握し、それをレジюмеにまとめる。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジюмеに反映させる。（2時間）</p>	
5	問題設定の検討	<p>【予習】論文で分析する事象に関する中心となる問題およびそれを細分化した問題、つまり問題の全体構造を検討し、それをレジюмеにまとめる。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジюмеに反映させる。（2時間）</p>	
6	仮説構築	<p>【予習】分析対象となっている事象に関して、当該時点での仮説を具体化し、それをレジюмеにまとめる。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジюмеに反映させる。（2時間）</p>	
7	仮説の進化・精緻化	<p>【予習】当初仮説に対してさらに仮説を精緻化し、それをレジюмеにまとめる。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジюмеに反映させる。（2時間）</p>	
8	方法論の検討	<p>【予習】テーマに対して適切な研究方法を検討し、具体的にどのように進めていくのか、レジюмеにまとめる。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジюмеに反映させる。（2時間）</p>	
9	レビュー論文の検討・リスト作成	<p>【予習】テーマに関連する既存研究論文を探し、レビューする論文のリストを作成する。</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジюмеに反映させる。（2時間）	
10	アウトライン作成	【予習】論文全体のアウトラインを作成する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
11	アウトライン精緻化	【予習】全体の流れを踏まえ、各章でどのようなことを書くのか、箇条書きでまとめたレジюмеを作成する。また当初仮説を進化させていく。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、アウトラインを完成させる。（2時間）	
12	問題設定パートに関する情報収集	【予習】問題設定に関して文章化していくために必要となる情報を収集し、レジюмеにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
13	仮説パートに関する情報収集	【予習】仮説を検証していくための定性・定量データを収集し、それをレジюмеにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
14	分析パートに関するデータ・情報の収集	【予習】収集した定性的・定量的データを分析し、仮説の確からしさを評価する。それらをレジюмеにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
15	分析パートに関する追加データ収集	【予習】分析が不十分なところに関して追加でデータ収集などを行い分析を深める。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
16	第1回中間報告	【予習】中間発表資料を作成する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
17	問題設定パートの執筆・報告	【予習】自分が設定している問題について文章化する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
18	仮説パートの執筆・報告	【予習】仮説パートを文章化する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
19	分析パートの執筆・報告	【予習】分析パートを文章化する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
20	レビューパートの執筆・報告	【予習】レビューパートを文章化する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
21	第2回中間報告	【予習】中間発表資料を作成する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
22	問題設定パートの最終化	【予習】問題設定パートの記載内容を再度見直す。必要に応じて追記修正する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
23	仮説パートの最終化	【予習】仮説パートの記載内容を再度見直す。必要に応じて追記修正する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
24	分析パートの最終化	【予習】分析パートの記載内容を再度見直す。必要に応じて追記修正する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
25	レビューパートの最終化	【予習】レビューパートの記載内容を再度見直す。必要に応じて追記修正する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
26	最終稿の取りまとめ	【予習】論文の最終化を行う。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
27	最終報告	【予習】最終報告会に向けた説明資料を作成する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
28	最終稿の校正・確認	<p>【予習】誤字脱字のチェック、図表のナンバリング・出所の確認など、作成原稿を指定された様式に修正していく。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）</p>	
29	最終審査に向けての内容検討	<p>【予習】作成した論文に関する最終審査に向けた準備を行う。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）</p>	
30	論文提出	<p>【予習】修正箇所がないか再度確認し提出の準備を行う。（2時間）</p> <p>【復習】論文作成プロセスの全体を通して自分が学んだことを整理する。（2時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		